

CBW APを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする

目的

この記事の目的は、Cisco Business Wireless(CBW)アクセスポイント(AP)を工場出荷時のデフォルト設定にリセットする2つの方法を紹介することです。

このドキュメントの用語に慣れていない場合は、『[シスコビジネス：新しい用語の用語集](#)』を参照してください。

設定を保持したままでリブートする場合は、代わりに[リブートのヒント](#)を確認してください。

該当するデバイス|ファームウェアバージョン

- 140AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新ダウンロード](#))
- 141ACM ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新ダウンロード](#))
- 142ACM ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新ダウンロード](#))
- 143ACM ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新ダウンロード](#))
- 145AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0 ([最新版をダウンロード](#))
- 240AC ([データシート](#)) | 10.4.1.0([最新をダウンロード](#))

目次

- [Webユーザインターフェイスを使用した工場出荷時設定へのリセット](#)
- [開いたクリップを使用して工場出荷時の設定にリセット](#)
- [特に考慮すべき事項](#)

はじめに

CBW APは802.11 a/b/g/n/ac(Wave 2)ベースで、内部アンテナを備えています。これらのAPは、最新の802.11ac Wave 2規格をサポートしており、より高いパフォーマンス、より優れたアクセス、より高密度なネットワークを実現します。このスイッチは、非常にセキュアで信頼性の高いワイヤレス接続によって業界最高レベルのパフォーマンスを提供し、堅牢でモバイルなエンドユーザエクスペリエンスを実現します。

CBW APは、従来のスタンドアロンデバイスとして、またはメッシュネットワークの一部として使用できます。

CBWメッシュネットワークキングの基礎を学びたい方は、以下をご覧ください。

- [FAQ](#)
- [シスコビジネス：ワイヤレスメッシュネットワークキングへようこそ](#)

場合によっては、APを工場出荷時のデフォルト設定にリセットして、最初から起動する必要があります。工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、すべての設定が失われます。接続の詳細を確認するため、デバイスを最初からセットアップし直す必要があります。

Webユーザインターフェイスを使用した工場出荷時設定へのリセット

初級ヘルプ

この切り替えられたセクションでは、初心者向けのヒントを紹介します。

ログイン

プライマリAPのWebユーザインターフェイス(UI)にログインします。これを行うには、Webブラウザを開き、<https://ciscobusiness.cisco.com>を入力します。続行する前に警告が表示されることがあります。クレデンシャルを入力します。Webブラウザに [https://\[ipaddress\]](https://[ipaddress]) (プライマリAPの) と入力して、プライマリAPにアクセスすることもできます。

ツールヒント

ユーザインターフェイスのフィールドに関する質問がある場合は、次のようなツールヒント



を確認してください。

メインメニューの展開アイコンを見つけられない

画面の左側のメニューに移動します。メニューボタンが表示されない場合は、このアイコン



をクリックしてサイドバーメニューを開きます。

シスコビジネスアプリケーション

これらのデバイスには、一部の管理機能をWebユーザインターフェイスと共有するコンパニオンアプリケーションがあります。Webユーザインターフェイスのすべての機能がアプリで利用できるわけではありません。

[iOSアプリのダウンロード](#) [Androidアプリのダウンロード](#)

よく寄せられる質問 (FAQ)

まだ未回答の質問がある場合は、よく寄せられる質問(FAQ)のドキュメントを確認してください。 [FAQ](#)

手順 1

アクセスポイントの電源が入っていない場合は、電源を入れます。インジケータライトのステータスを確認します。LEDライトが緑色に点滅したら、次の手順に進みます。

アクセスポイントの起動には、約8 ~ 10分かかります。LEDは複数のパターンで緑色に点滅し、緑色、赤色、およびオレンジ色の間で急速に交互に点滅した後、再び緑色に変わります。LEDの色の輝度と色合いには多少の違いがある場合があります。

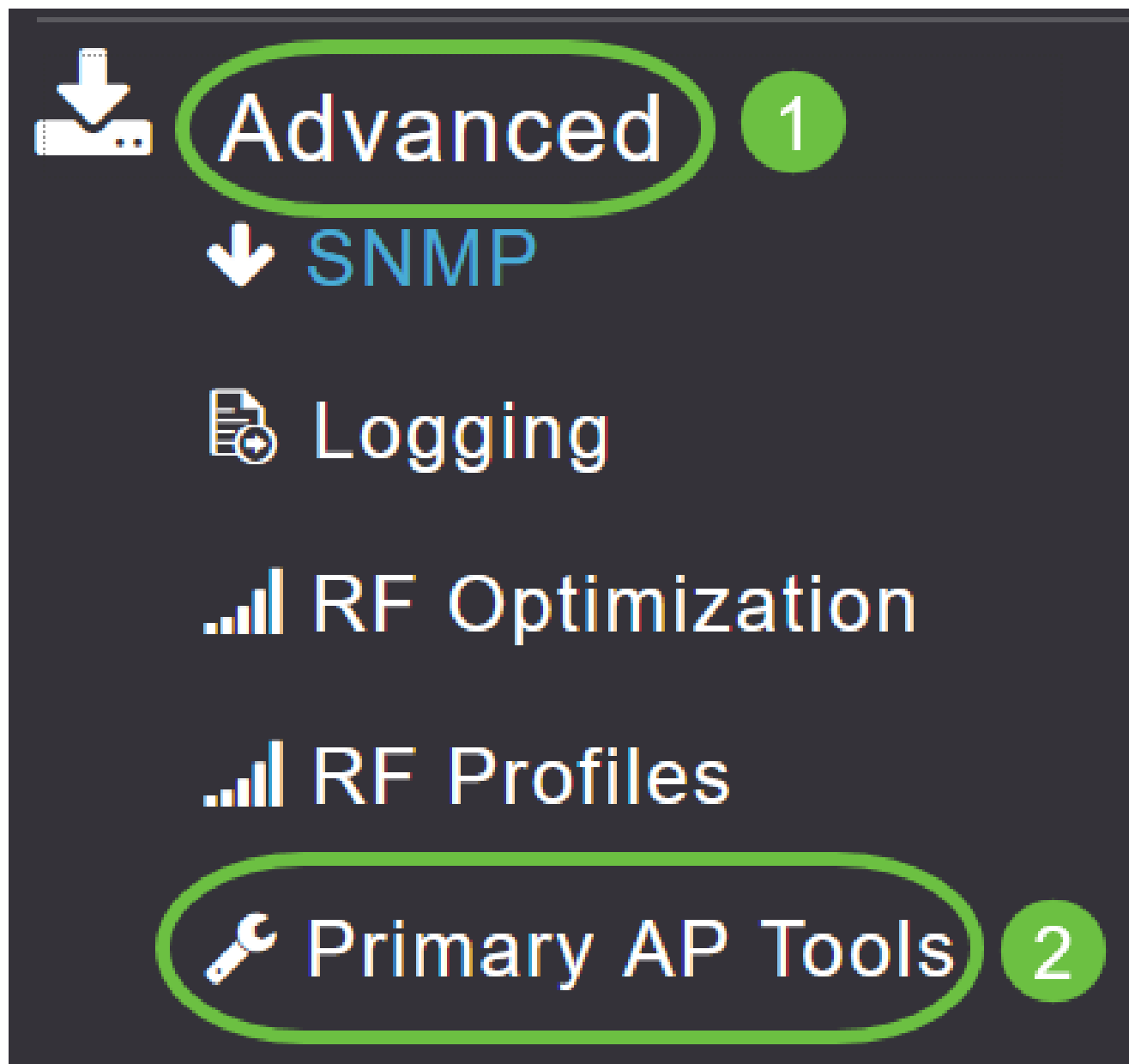
手順 2

プライマリAPのWeb UIにログインします。Webブラウザを開き、<https://ciscobusiness.cisco>と入力します。サイトに初めてアクセスする場合は、<http://ciscobusiness.cisco>と入力する必要があります。続行する前に警告が表示される場合があります。認証情報を入力してください。

また、WebブラウザにプライマリAPのIPアドレスを入力して、Web UIにアクセスすることもできます。

手順 3

Web UIメニューから、Advanced > Primary AP Toolsの順に選択します。



手順 4

Configuration Managementタブをクリックします。下にスクロールして、Reset to Factory Default Settingsを選択します。これにより、すべての設定が削除され、すべての設定がデフォルト設定に戻ります。

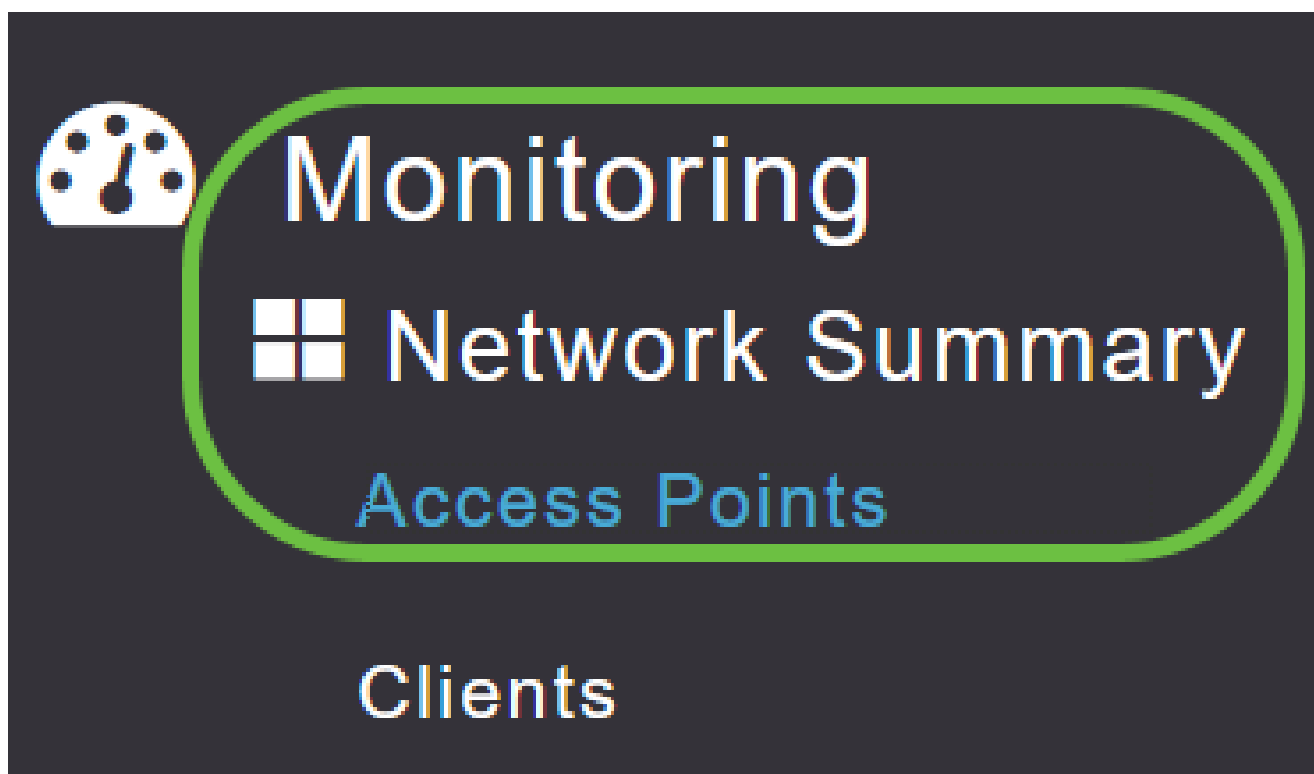
Primary AP Tools

[Restart Primary AP](#)[Configuration Management](#)[Troubleshooting Files](#)[Troubleshooting Tools](#)[Upload File](#)

ソフトウェアバージョン10.3.1.0以降では、非プライマリAPをリセットできます。最新バージョンを所有していない場合は、[ここをクリックしてCisco Business Wirelessアクセスポイントのソフトウェアを更新してください](#)。

手順 5

プライマリ対応APまたはメッシュエクステンダをリセットするには、Monitoring > Network Summary > Access Pointsの順に選択します。



手順 6

非プライマリAPを選択します。

Access Points

2.4GHz

5GHz

 Primary AP  Mesh Extender

AP Name	Role	Type	Clie...	Usage	Uptime	Adm... Stat...	Ope... Stat...	Channels
Cisco-CBW-1		Primary AP	1	4.8 MB	2 days, 17 h 42 m ...	Enabled	UP	11
Cisco CBW-2		Mesh Exten...	1	4.2 MB	2 days, 17 h 36 m ...	Enabled	UP	11
Cisco-CBW-3		Primary Cap...	1	3.8 MB	2 days, 17 h 10 m ...	Enabled	UP	11

ステップ7

APの詳細セクションまでスクロールダウンして、Toolsタブを選択します。

CBW DETAILS

CLIENTS

RF TROUBLESHOOT

SPECTRUM INTELLIGENCE

TOOLS

手順 8

Factory Defaultボタンをクリックします。

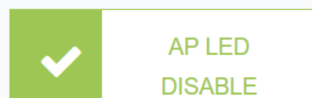
CBW DETAILS

CLIENTS

RF TROUBLESHOOT

SPECTRUM INTELLIGENCE

TOOLS



開いたクリップを使用して工場出荷時の設定にリセット

APに直接アクセスできる場合は、開いたペーパークリップを使用するか、Modeボタンの内側に収まる薄くて強力なオブジェクトを使用できます。電源がオフになっていることを確認します。デバイスのModeボタンを押し続け、APの電源をオンにします。数秒後、デバイスのLEDが20秒間緑/オレンジで点滅し始め、その後、緑/消灯に切り替わります。発光ダイオ

ード(LED)パターンが緑/オフに変わったら、Modeボタンを放して、デバイスのブートアップを続行します。

Modeボタンが押されている間の20秒間のカウントダウン中、145AC LEDは赤/オレンジで点滅します。

タイミングがすべてです。

- Modeボタンは、電源が入る前に押し続ける必要があります。APの電源を入れたら、Modeボタンを30秒間押し続けてから放します。
- ブートアップの開始後にModeボタンを押した場合、工場出荷時のデフォルトのリセットは無視されます。
- Modeボタンを60秒以上押すと、工場出荷時のデフォルトのリセットは無視されます。



クリップを開く手順でプライマリAPをリセットした場合でも、ネットワーク内の他のすべてのAPでリセットを実行できます。

特に考慮すべき事項

デフォルト設定の多くを使用している場合は、工場出荷時のデフォルトへのリセットに関する問題は発生しません。ただし、次の状況が当てはまる場合があります。

- プライマリAPのリセットを実行しても、下位APのカスタマイズされた無線設定はリセットされません。
- 元のDay Zero設定を行った際に設定したブリッジグループ名がある場合は、同じブリッジグループ名を使用するか、または下位のAPが古いブリッジグループ名を検索するために10 ~ 15分ごとに接続解除されるようにすることをお勧めします。この問題を解決するには、[ブリッジグループ名](#)を確認してください。
- リセットを実行した後、ログインするために<http://ciscobusiness.cisco>のUniform Resource Locator(URL)の代わりに<https://>を使用して、Day Zero (ゼロデイ) 設定を行うことが必要になる場合があります。

結論

Cisco Business Wireless APを工場出荷時の初期状態にリセットするためのヒントをいくつか紹介します。これにより、APを新しく導入しやすくなります。

[メッシュの概要](#) [メッシュFAQ](#) [シスコビジネスワイヤレスモデルデコーダ](#) [リブートのヒント](#) [工場出荷時のデフォルトにリセット](#) [ゼロデイ：アプリケーション/ Web経由で設定](#) [モバイルアプリとWeb UI](#) [Cisco Business Wireless Mesh Networkのベストプラクティス](#) [許可リスト](#) [ソフトウェアの更新](#) [CBWアプリケーションについて理解する](#) [トラブルシューティング](#) [時刻の設定](#) [赤色LEDのトラブルシューティング](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。